

## 第4回「民族共生の象徴となる空間」における民族共生公園（仮称）基本構想検討会

### 議事要旨

■日時：平成27年3月5日（木）14：00～16：00

■場所：北海道建設会館 9階大会議室

■出席委員（五十音順）：

愛甲哲也、浅川昭一郎、内田祐一、加藤忠、坂井文、戸田安彦（代理）、野本正博、吉田恵介

### ■議事要旨

#### 1. 基本構想（案）について

（基本方針について）

- 「衣食住」という言葉は、「生活」とした方がよいのではないか。衣食住に限定する必要はないのではないか。
- ポロト、ポントの表記について地図上では、ウツナイ川等の記述と整合がとれていない。また、一般の方が地図を見た時にどこを指しているのか分かりにくい。象徴空間基本構想などではポロト湖、ポント沼と表記しており、これらの表記との整合と図るべきではないか。
- アイヌ語重視であればポロト・ポント、地図表記重視であればポロト湖・ポント沼となるが、基本構想のコンセプトとしてどう考えるかが重要。
- ポロト・ポントは、説明をする際には分かりやすいので、ポロト・ポントでいいのではないか。
- 文章はこのままで、地図上に「湖」、「沼」の表記を補うことでよいのではないか。
- 「コタン」という言葉の解説を記載すべき。

（空間構成の方針について）

- エントランスは、出口として、送り出す場所としてもことに留意することが必要ではないか。
- エントランスには、国際交流拠点のモデル施設として案内やガイダンスの為だけではなく、他地域へ送り出す機能という視点が必要。
- エントランスは、周りの駐車場や歩道との接続を上手に行うことが重要であり、交通拠点としての役割に触れる必要があるのではないか。
- 交通拠点という視点は重要である。エントランス付近は、道路や鉄道が入り組んでおり敷地も狭い。この部分に博物館が立地するという案も検討されているとのことなので、自動車交通と歩行者の分離への配慮等を記載するべきではないか。
- 「アイヌの自然観に触れる空間」に、「自然素材の栽培等」との記述があるが、植物だけとよめてしまうので幅を持たせた表現を用いた方がよいのではないか。
- 「アイヌの自然観に触れる空間」に、「チセの建築に自然素材を活用する技術」との記述があるが、対象地でチセの建築に必要な素材の栽培が実施されるのかということを検討し、「チセの建築」に絞ることなく「生活道具の素材」などの表現にした方がよいのではないか。
- 象徴空間では生活空間全体を見せるので、生活空間や暮らしの中にある様々な道具や船、建築などを含む、広げた表現の方がよい。その方が展示しやすいし、見た時の見応えが出ると思う。

- 動線検討について、管理用の動線が見えなければよい、物資の搬入ができればよいとだけ書かれているように感じる。博物館のような巨大な施設がある中で、バックヤードをどの位置に置くかといったロケーションの問題があり、注意しないと動線が交錯したり、資材などが見えたりしてしまうことが懸念される。動線が交錯しないように、という書き方をすべきではないか。
- 「動線検討にあたっての留意事項」には、空間体験についての記載もあるので、計画にあたっての留意事項として大きく捉えて整理し、「空間構成の留意点」とした方が良いのではないか。
- 動線の検討について、荒天時、冬季間への配慮に関する記述があるとよい。

(その他)

- 対象地状況図の対象地の表現が分かりにくい。対象範囲を分かりやすく表現するとともに、民族共生のイメージ図にも対象地の範囲を記載した方が良い。
- 象徴空間基本構想のゾーニングを尊重すべきと思っているので、それを踏まえた今後の検討をお願いしたい。
- 基本構想の記載内容と象徴空間基本構想のゾーニングとの関係を記載しておいた方が良いのではないか。  
→事務局：象徴空間基本構想がベースになっているのは基本認識である。この基本構想では公園の機能をしっかり示していきたい。
- 来訪者や利用者、人々など様々な表現がされているので整理すべき。

## 2. その他

(来年度に向けて)

- ゾーニングの計画や建物の配置は、条件によって変わってくるが、今後、具体的に設計に落とししていくには、建築や公園の専門家が議論するワーキングを設けた方が良い。忌憚なく話し合い、多面的に検討するということが大事ではないか。
- エントランス付近は建築が凝縮されることも想定される。来訪者にとっては、管理区分で見ているわけではなく、空間としてみる。エントランスは、対象地に入る前から始まっているという認識が重要である。エンドユーザーとしては空間全体で楽しんでいるという認識にたって、建物や空間を議論していくことが重要。
- 博物館は大きなものなので、公園全体考える上で大きな意味を持っている。自然との調和、環境への配慮など、ランドスケープの視点からも十分検討されて決めることが重要である。しっかり議論できる場があった方が良い。公園施設なども、周りの自然にどう配慮するか、調和するかなどの検討が次のステップとしては必要になると思う。

以上